

# グリーンブルーペーパー

2006年1月

## ● 目 次 ●

### 2006年年始特別号 —受賞者紹介と新編集室—

創立33周年記念式典—開港記念会館にて  
グリーンブルー賞を受賞して  
グリーンブルー優秀賞を受賞して  
グリーンブルー・ペーパー新編集室の立上げ

環境調査事業ユニット 堀江 宥治  
東京保守第1サブユニット 高橋 雄一  
環境調査事業第3サブユニット 酒井 恵三

### 創立33周年記念式典—横浜開港記念会館—

昨年2005年10月15日に、グリーンブルー株式会社の創立34周年記念式典が横浜関内にある開港記念会館で行われました。会場には社員やパート 80名ほどが集まり、式典とそれに続いて行われた慰労会でひと時仕事を忘れて横浜の風情を楽しみました。

式典は、社長の挨拶で始まり、10年以上勤続された人に永年勤続者の褒賞が行われました。今回の創立記念では、次の8名の方々が褒賞を受けました。30年勤続：末永周二、箱守一穂、25年勤続：藤村満、20年勤続：高橋雄一、15年勤続：八木繁樹、佐々木淳一、10年勤続：山本祐志、長谷川重雄。

その後で、平成14年からはじめられたグリーンブルー賞の発表会に移り、ノミネートされた5名(高橋、酒井、川村、佐々木、金成)によるプレゼンテーションが行われました。発表はパワーポイントを用いた各自30分のプレゼンテーションで、自分が携わっている業務の紹介や仕事に対する誇り、工夫、信条などユーモアを交えて発表されました。

発表の後に、式典参加者全員による投票が行われ、ベスト1からベスト3までの発表者が選ばれました。あらかじめノミネート時に与えられた評価点と投票結果から、最高得点を獲得した高橋雄一さんにグリーンブルー賞が、惜しくも次点の酒井恵三さんには優秀賞が与えられました。今月号では、受賞したお二人に、受賞の感想を伺いました。

#### 環境調査事業ユニット 堀江 宥治



開港記念会館外観



社長挨拶



永年勤続者褒賞  
右より、末永、箱守、藤村、高橋、佐々木、長谷川  
(欠席：山本、八木)



慰労会の風景

## グリーンブルー賞を頂いて

高橋 雄一

大気自動測定器の保守管理の業務につく高橋さん。同一作業の繰り返しで機械的になりがちな日々の業務で、慢心せず日々努力していると感じさせてくれました。プレゼンテーションなのに失敗談を語ってくれたところにも高橋さんの人柄が感じられます。

賞をいただいて光栄であると同時にまずかったかな～というのが正直な感想です。今回は例年とは選考方法が変わり、ノミネート対象者はプレゼンテーションを行うことになっていました。実はパワーポイントを使用しての発表は初めてでした。普段の主な業務は大気自動測定器の点検です。測定器が正常に稼動していて当たり前、何かあれば減点対象という業務です。そのため、発表内容を何にするか戸惑いました。

測定器が故障した場合、原因が発見しにくい場合があります。回路図等を見ていろいろ推測するのですが、原因がつきとめられず、つい測定器メーカーのアドバイスを求めてしまいます。やはり故障箇所へのアプローチのまずさ、論理的な思考の欠如、すぐに答えを求める気の短さなどに課題を感じます。

今回の発表では、このような失敗例も挙げました。他の人が同じ失敗を繰り返さないために、少しでもお役にたてればと思い発表しました。

会場では、私以外の発表者の仕事内容のレベルの高さを感じ、まさか自分が選ばれるとは思いませんでした。

受賞したときに、この会社にはかなり長くお世話になっているにもかかわらず、かなり無為に過ごしてきたなあという思いでした。ふと気付くと、自分が時代遅れの人間になっていたような気分です。ここ数年それに気付いて、遅れを取り戻そうとしているのですがなかなか追いついていません。化石人間にならないように日々過ごしていきたいと思います。また今後は、社内だけでなく外部の人間からも認められるような能力を身につけたいと思います。

長年勤続されている先輩方からも多くを学べます。若い人でも「かなわないや～」という感じの人が大勢入社しています。まわりの人からからもっといろいろなことを得られるように日々努力していきます。

今回の受賞はそういった意味での叱咤激励ととらえて、一層の努力を心がけます。

### 高橋さんへの投票理由：

- ◆彼の地道にまじめに仕事に取り組む姿勢が感じられた。
- ◆継続は力なりであるが、日々自分自身で仕事を



東京保守第1サブユニット

高橋 雄一

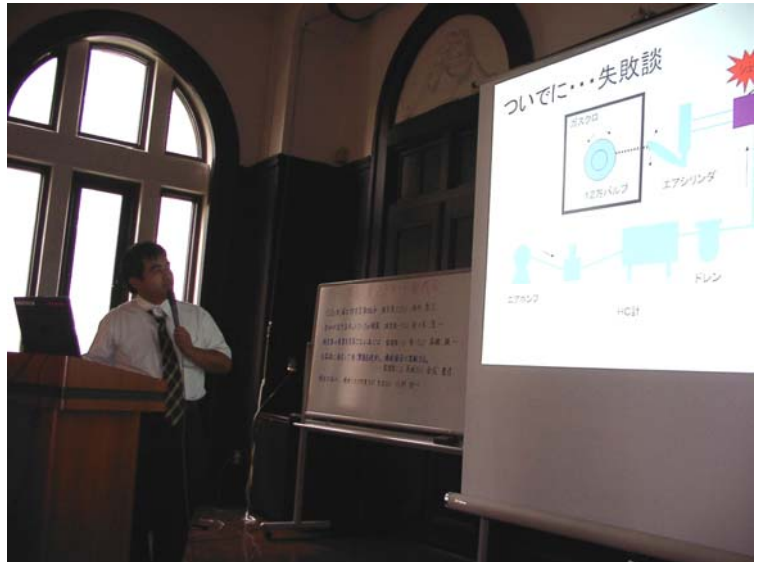
LEVEL: 勤続20年

HP: 気は優しく力持ち

MP: いつも笑顔

特殊能力: 野球チームの名捕手。

仕事は名保守。



楽しみ、大切にしているとおもいました。地味ですが、基幹業務アイテムとして大変興味ある保守サービスの内容でした。◆ミス・トラブルの未然防止に対する具体的事例(リークチェック)をあげ、チェックを行う具体的方法が示された。◆失敗談も盛り込まれ、プレゼンの内容に親近感を感じた。◆積極的に仕事をしている熱意が感じられた。◆仕事に責任感が感じられ、見習いたい点が最も多かった。

## グリーンブルー優秀賞への道のり

酒井 恵三

多岐にわたる環境調査の事前計画から現場、報告まで、あらゆる知識と経験が要求されるユニットをとりまとめる酒井さん。仕事への意識レベルの高さもさることながら、他のユニットにも分かりやすい、魅力あるプレゼンテーションに評価があつまりました。

まずは、グリーンブルー賞に部門から推薦頂いたこと、他にも興味深い発表がある中で社員の皆さんの支持を二番目に頂いて優秀賞受賞となったことを感謝いたします。

堅苦しい文章はこのくらいにして、そもそも私が人に推薦されるなど、中学校のとき水道の蛇口にあるレモン石鹼を補充する仕事で、美化委員に選ばれて以来の名誉なことです。期待に応えるためにいい発表をしようと思うものの、取り立ててトピックスのない私には、小学校の夏休みに読んでもいない読書感想文を書くときのように、全然原稿が進みません。困った！！

さて、どうしたものか。入社から関わっているSPMについての能書きを述べるのでは、社員の皆さんの退屈を誘うだけでなく眠気や怒りまで買う恐れがあります。中学受験のプレッシャーで下痢をするような繊細な私には、そのような視線に耐えられそうもないのでペケ。最近流行の家庭内暴露は、家庭内での私の立場をカエルのぬいぐるみより弱くしてしまう恐れがあり、これも却下。結局今回の発表のような、無難な線で落ち着いた次第です。意気地なし！！

発表内容の8割方を占めた夏期沿道観測レポートは、環境調査事業ユニット全員が業務に関わり、最新機器を多数導入して新たな試みもあったので、調査ユニットの誰がレポートしても興味深いものが出来たでしょう。全員の汗水垂らした努力があつてこそ、私は代表として発表したに過ぎません。推薦された時に、タイミング良く面白い調査があつてラッキーでした。

大気環境学会で発表した内容を十分にご披露できなかったことは残念でしたが、意気地なしの私が今回の発表をこなせたのは、人前で発表すること、表現することを学会で経験していたからでしょう。経験は知識に勝る！！



環境調査事業第3サブユニット

酒井 恵三

LEVEL: 勤続7年

HP: 厳しいけど優しい

MP: 仕事も遊びも本気モード

特殊能力: フットサルチームの名キーパー。現場の指示のように的確。



ところで、頂いた賞金は家庭に入れることなく調査の新人と飲んでしまいました。ごちそうさまでした。

#### 酒井さんへの投票理由：

◆ 図や写真を多く用い、業務の内容が分りやすかった。 ◆ 発表になれており、堂々としていて良かった。 ◆ 調査内容を知らない人にも分りやすく、聞いていて面白かった。 ◆ プレゼンのレベルが高く参考にしたい。 ◆ 新しい技術、知識導入に積極的に力を注いでいる。 ◆ 制限時間きっかりのプレゼンで、発表にセンスを感じた。

## グリーンブルー・ペーパー編集室

### ◆ 新編集室の立上げ

平成15～16年の2年間編集に係わっていただいた方々に代わって、新年から新しい編集室が立ち上がりました。新編集室のメンバーは下表の12名です。このうち前回の編集室に加わっていたのは小生を含めて4名だけです。新しいメンバーは年令も若くバイタリティーがありますので、新鮮なグリーンブルー・ペーパー(GBP)を編集してくれるものと思います。

役割		氏 名	所 属
編集委員長		堀江 宥治	環境調査事業ユニット
GBP 作成専門員		間山 洋	環境システムサブユニット
チームA	副編集長	川村 功一	生活環境試験サブユニット
	編集員	松本 岳之	環境調査事業第3サブユニット
	編集員	佐藤 大介	東京保守第2サブユニット
	編集員	常盤 加奈	生活環境試験サブユニット
	編集員	野中 精次	環境システムサブユニット
チームB	副編集長	鈴木 一平	社長付エコダスEMS開発
	編集員	室津 耕太郎	環境調査事業第2サブユニット
	編集員	斉藤 賢一	東京保守第1サブユニット
	編集員	浦田 泰裕	環境化学分析サブユニット
	編集員	村越 邦啓	営業開発ユニット

新編集方針は「こだわり」と「紹介」です。「こだわり」は、仕事、技術、品質、文章などへのこだわりについて、個人やグループの経験や知見を通して語ってもらいます。「紹介」は、先端技術や新しい環境コンセプトなどについて、当社がどのように対処しているかを分りやすく解説します。お客様への話題提供と社内のコミュニケーションの場を、新 GBP 編集室がどのように具現化していくかにご期待下さい。

### ● 編集後記

グリーンブルー・ペーパーもようやく3年目を迎えました。年始特別号として、今回は昨年10月の創立記念式典での二人の受賞者に感想を書いてもらいました。発表会を準備してくれた松本、常盤さんには、写真の選定やGB賞への投票理由などをまとめてもらいました。

また、本ペーパーの編集室を全面的に刷新し、新たな編集方針で進みます。これからもご愛読下さい。(堀江)

発行 グリーンブルー株式会社

URL: <http://www.greenblue.co.jp/>

横浜本社 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-14-12  
Tel. 045-322-1011 Fax. 045-322-3133  
東京本社 〒144-0033 東京都大田区東糀谷 5-4-11  
Tel. 03-3745-1411 Fax. 03-3745-1413

編集人 堀江宥治